

2010型リークライト 取扱説明書

天竜うち星工房

〒431-3754 静岡県浜松市天竜区相津399

TEL:053-923-0231

携帯:080-5531-1394

E-Mail:sadayuki.uchiyama.gamma@gmail.com

URL:<https://tenryu-uchihosi-koubou.jimdo.com/>

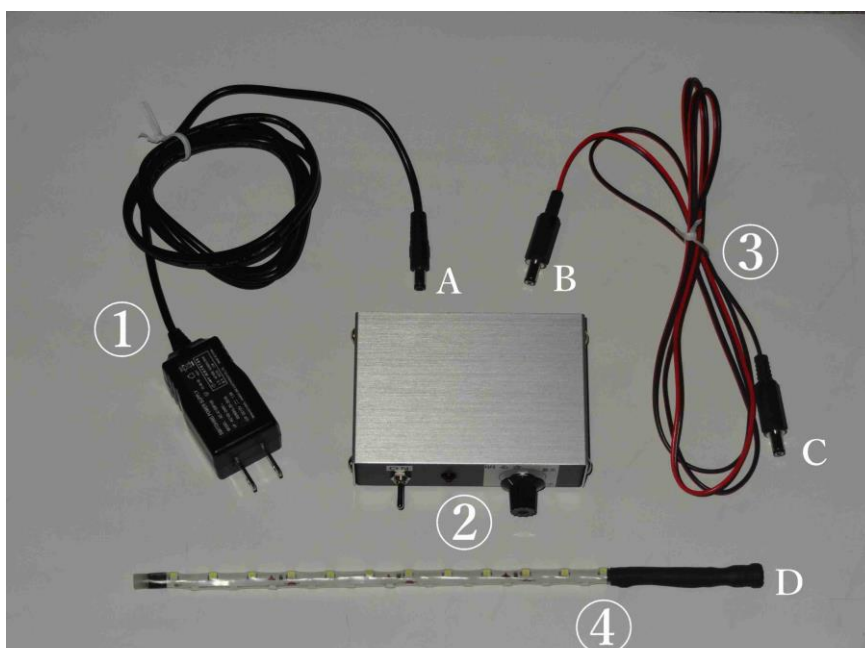
1. 概要

2010型リークライトは、ピッコロやフルート及びその他の木管楽器や金管楽器の検査・修理の時に使うライトです。

ライトは高輝度LEDを、表裏に計23個並べたタイプです。

2010型は、電源アダプター(①)、調光器(②)、延長ケーブル(③)、リークライト(④)から構成されています。

全体の写真



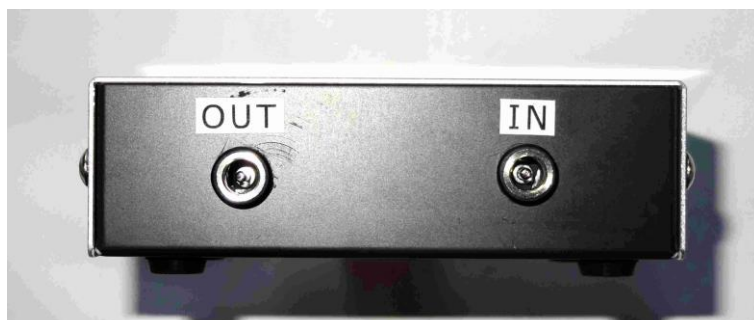
- ① アダプター・・・家庭用のAC100VからDC12Vに変換する電源アダプターです。
- ② 調光器・・・電源のON/OFFスイッチと明るさ調整用のロータリースイッチを備えたアルミボックスです。
- ③ 延長ケーブル・・・調光器からライトに電源を供給するケーブルです。
- ④ リークライト・・・リークライト本体です。

2. 使い方

2-1. 電源と調光器の接続

電源アダプター (①) の出力プラグコネクタ (A) を調光器 (②) の裏パネルにある「IN」のレセプタクルコネクタに差し込みます。

調光器の裏パネル



2-2. 調光器と延長ケーブルの接続

延長ケーブル (③) の片端のコネクタ (B) を調光器の裏パネルにある「OUT」のレセプタクルコネクタに差し込みます。

2-3. 延長ケーブルとリークライトの接続

延長ケーブルのもう一方のコネクタ (C) をリークライト (④) のレセプタクルコネクタ (D) に差し込みます。BとCのコネクタは全く同じものですのでどちらを使っても構いません。

2-4. 電源の供給

電源アダプターを AC100V のコンセントに差し込みます。

2-5. リークライトの点灯と明るさの調整

調光器の表パネルのトグルスイッチを上 (「ON」) に倒します。右の赤色 LED が点灯します。

ライトの明るさは右のロータリースイッチを回すことで調整できます。

右に回して、回し切ると最大です。左に回して、回し切ると最小です。

このロータリースイッチは精密で、軽く回せるように作られていますので、強い力で回さないようにしてください (注意!!)。

調光器の表パネル



2-6. リークライトの点灯状態

正しくケーブルが接続され、リークライトに電源が正しく供給されると写真のように点灯します。

これで使用できる状態になりました。

長く点灯したままにするとライトが熱くなってきます。

電源はこまめに切るようにしてください（**注意！！**）。



2-7. 消灯

使い終わったら、調光器の表パネルのトグルスイッチを下に倒します。右の赤色 LED とリークライトが消灯することを確認してください。

2-8. 電源を切る

使わないときは、必ず電源アダプターを AC100V のコンセントから外してください（**注意！！**）。

2-9. 保証期間

保証期間は 1 年間です。取扱上の問題が無く故障したときは、無償で修理します。

1 年間を過ぎた場合は実費にて修理を引き受けます。

以上